

2013 年 8 月 26 日

各 位

会社名 新華ホールディングス・リミテッド
(URL : www.xinhuaholdings.com/jp/)
代表者 最高経営責任者 (CEO)
レン・イー・ハン
(東証マザーズ コード番号 : 9399)
連絡先 : 最高財務責任者 (CFO)
レン・イー・ハン
(電話 : 香港 852-3196-3977)
連絡先 : 代理人 スキャデン・アープス法律事務所
弁護士 神谷 光弘
(電話 : 03-3568-2600)

当社子会社に対する出資持分に係る紛争の解決に関する基本合意書の締結並びにこれに伴う一部事業部門の廃止と特別損失発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

新華ホールディングス・リミテッド（以下「当社」といいます。）は本日、新華トップ・スカイ・パブリック・リレーションズ・コンサルティング（北京）カンパニー・リミテッド（以下「トップスカイ」といいます。）の出資持分に係る紛争の解決に関する基本合意書の締結並びにこれに伴うアプリケーション・ソリューション／リサーチ事業（農業関連事業）部門の廃止と特別損失の発生及び 2013 年 8 月 12 日に発表した 2013 年度通期の業績予想の修正をお知らせします。

1. 当社子会社に関する紛争の概要とその背景について

(1) トップスカイについて

トップスカイは、中国の北京を本拠とする投資持株会社であり、専門的な PR 活動、情報、並びに展示企画、投資企業の経営、経済情報、金融コンサルティング及び企業イメージのデザインを含むマーケットサービスの事業を手掛けています。トップスカイは、傘下に 2 つの子会社を保有しております。1 社は、農業に関する情報の提供を主たる事業内容とする北京オリエント・アグリビジネス・コンサルタント・カンパニー（以下「BOABC」といいます。）、もう 1 社は、金属商品に関する情報提供サービスを主たる事業内容とする上海トンシン・インフォメーション・テクノロジー・コンサルティング・カンパニー・リミテッド（以下「トンシン」といいます。）です。

当社の完全子会社である新華ファイナンシャル・ネットワーク（上海）リミテッド（以下「新華ファイナンシャル上海」といいます。）は、トップスカイの出資持分の全部を、複数の契約を通じてノミニー（名義人）株主である新華グループ会社と雇用関係にある 3 名の従業員を通じて保有しています（以下「ノミニーストラクチャー」といいます。）。なお、3 名のノミニーはそれぞれ、トップスカイの持分の約 3 分の 1 を保有しています。

トップスカイの出資持分の実質保有者である新華ファイナンシャル上海とノミニー株主との間でノミニーストラクチャーにおける権利義務関係を定めるために締結された契約等は、以下のとおりです。

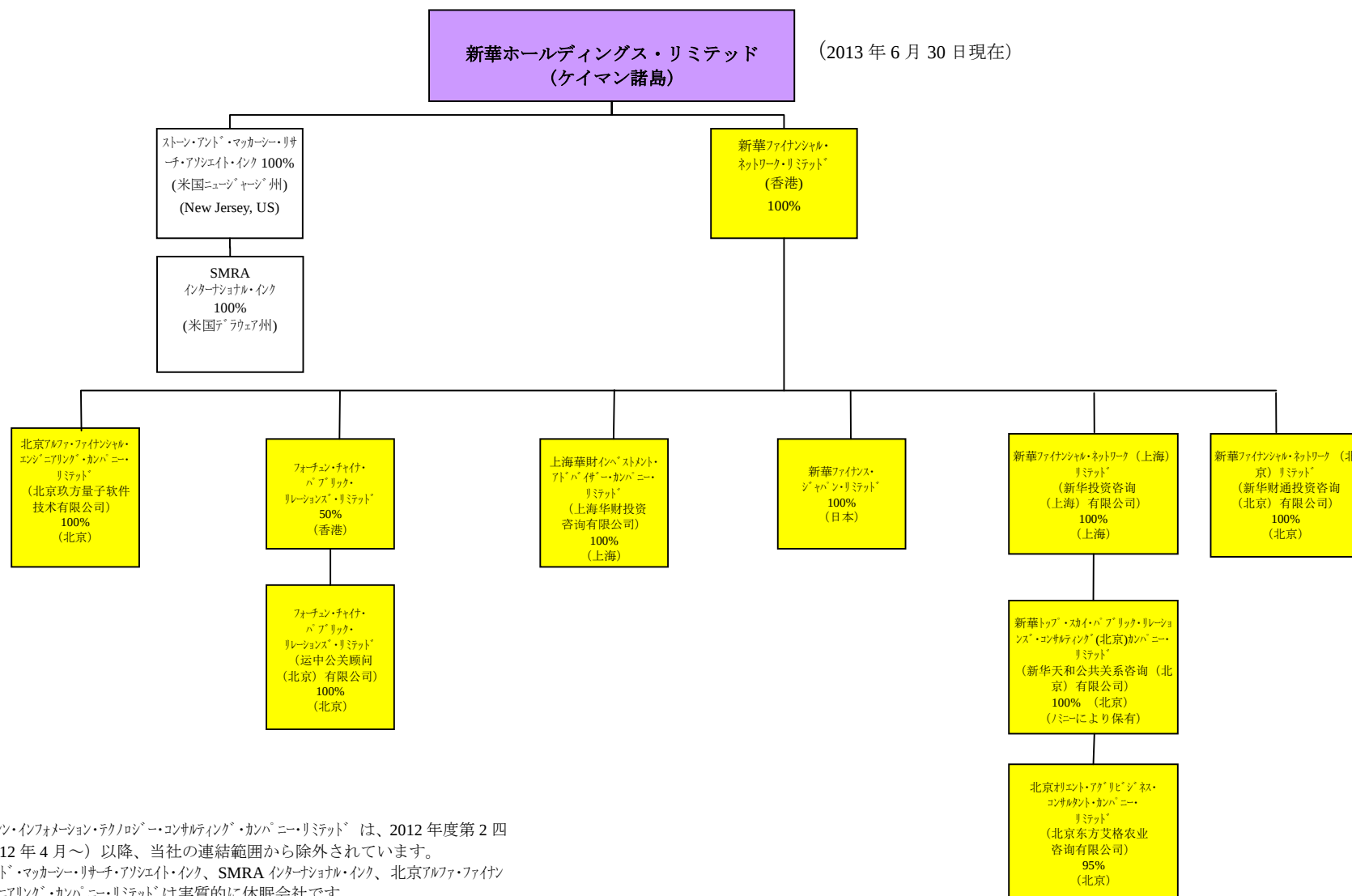
- a) トップスカイの出資持分を取得するために、ノミニー株主が新華ファイナンシャル上海に対して一定の金額を支払う旨約する担保付約束手形（以下「担保付約束手形」といいます。）
- b) 保有するトップスカイの出資持分の全てを、①の担保付約束手形の全額支払の担保として差し入れることにノミニー株主が同意する株式担保契約（以下「株式担保契約」といいます。）
- c) 新華ファイナンシャル上海が随時書面で指定する者をノミニー株主の弁護士として指名し、かつ、トップスカイの出資持分から生じるノミニー株主の権利を行使するためにノミニー株主のために行動する権限を当該指名を受けた者に与えることをノミニー株主が同意する代位契約（以下「代位契約」といいます。）
- d) トップスカイのノミニー株主の出資持分の全部又は一部を、自らの裁量のみで購入する権利を新華ファイナンシャル上海に与えることにノミニー株主が同意する株式独占購入オプション契約（以下「株式独占購入オプション契約」といいます。）

(2) トップスカイに関する議論について

2011 年 7 月以降、当社は 3 名のノミニー株主を通じてトップスカイの出資持分を保有しており、ノミニー株主の一人であるタン・シャンヤン氏（Mr. Tang Xiangyang）がトンシンの代表者に任命されています。

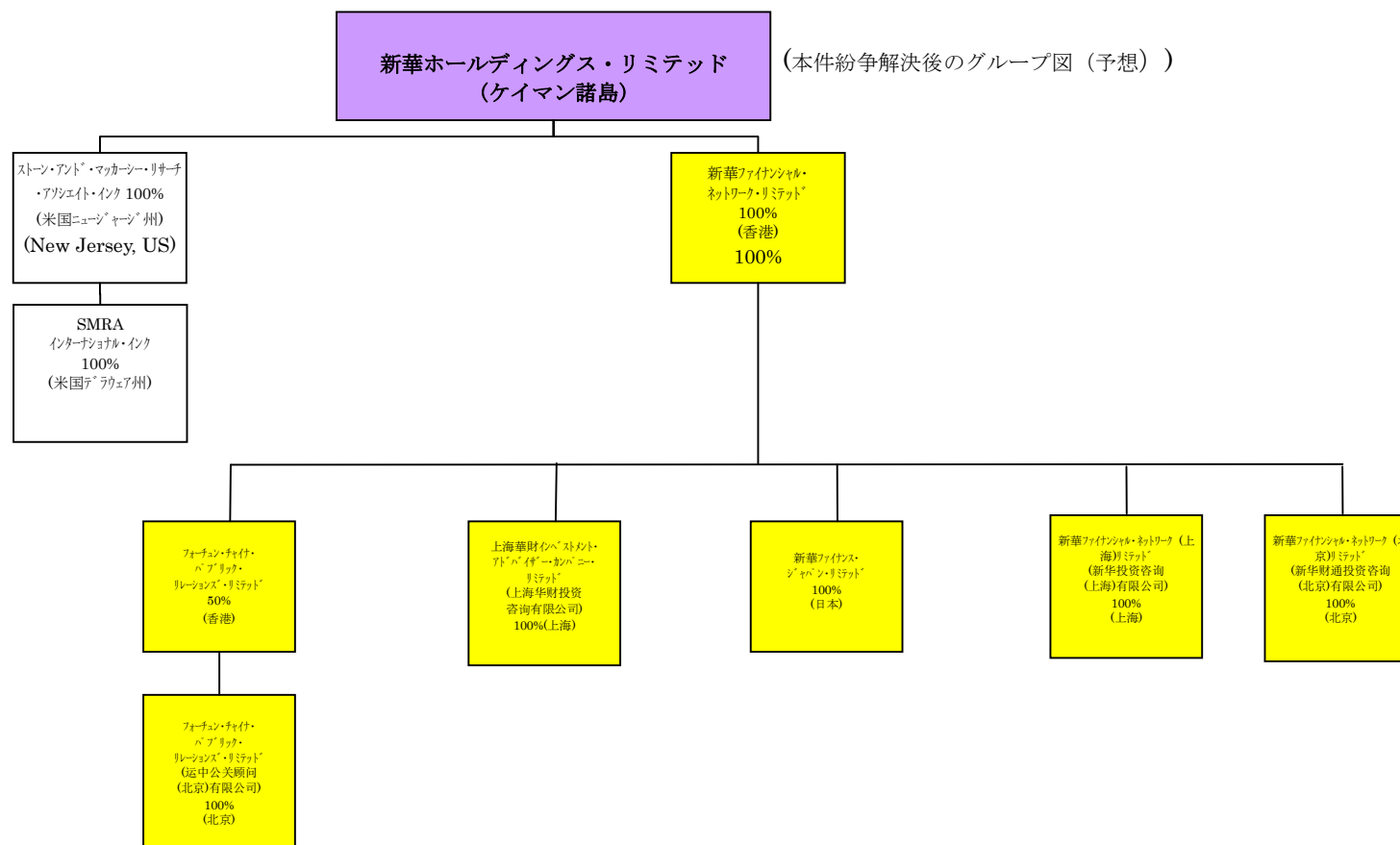
新華ファイナンシャル上海は、2012 年 1 月、トップスカイ並びにその子会社及び関連会社を含む企業に対する支配力を実質保有者に与えるという面において、ノミニーストラクチャーは株式の直接保有ほど効果的ではないと考え、上記(1)のノミニー株主らの交代を希望し、当該ノミニー株主にトップスカイの出資持分を新華ファイナンシャル上海に返還するための書類に署名するように要請しましたが、ノミニー株主 3 名のうち 2 名（タン・シャンヤン氏（Mr. Tang Xiangyang）及びヤン・ユー女史（Ms. Yang Yu））がこれを拒絶しました。そこで、新華ファイナンシャル上海は、その法的権利を回復し、実質株主としての権利を行使するため、同社と当該ノミニー株主らとの間で締結された取り決めにに基づき、中国国際経済貿易委員会上海小委員会（以下「仲裁機関」といいます。）に対し、当社の要請に応じなかったノミニー株主の一人であるヤン・ユー女史（Ms. Yang Yu）を相手として、2012 年 5 月 10 日付けで仲裁を求める申し立てを行い、当該申し立ては 2012 年 6 月 18 日に受理されました。なお、本日現在において、仲裁機関による仲裁判断はまだ下されていません。

トップスカイのノミニー株主と新華ファイナンシャル上海との間の紛争により、トンシンの経営陣が当社の指示に従わない状態となり、トンシンの詳細な財務情報の報告が得られなくなったため、当社は、2012 年度第 2 四半期（2012 年 4 月～）より、トンシンに対する支配力を喪失したことを理由に、トンシンの財務成績を連結範囲から除外しています。



* 上海トンシン・インフォメーション・テクノロジー・コンサルティング・カンパニー・リミテッド* は、2012年度第2四半期（2012年4月～）以降、当社の連結範囲から除外されています。

ストーン・アント・マッカード・リサーチ・アソシエイト・インク、SMRA インターナショナル・インク、北京アルファ・ファイナンシャル・エンジニアリング・カンパニー・リミテッド は実質的に休眠会社です。



*ストーン・アント・マッカーシー・リサーチ・アソシエイト・インク、SMRA インターナショナル・インクは実質的に休眠会社です。

2. トップスカイとの紛争の解決

(1) レター・オブ・インテント（基本合意書）の内容

当社は、本日、トップスカイのノミニー株主 3 名のうちの一人であり、紛争当事者でもあるタン・シャンヤン氏（Mr. Tang Xiangyang）との間で、主として以下の条件を内容とするレター・オブ・インテント（基本合意書）を締結し、以下の取引を実行することについての基本的な合意に至りました。

- a) トップスカイ、新華ファイナンス上海及びノミニー株主3名の間で締結された担保付約束手形、株式担保契約、代位契約、株式独占購入オプション契約に関して、新華ファイナンス上海は各契約に基づく自己の全ての権利をタン・シャンヤン氏（Mr. Tang Xiangyang）に対して譲渡することに合意する。
- b) 当社の完全子会社である新華ファイナンス・ネットワーク・リミテッド（香港）（以下「新華ファイナンス香港」といいます。）は、完全子会社である北京アルファ・ファイナンス・エンジニアリング・カンパニー・リミテッド（以下「Beijing Alpha」）の持分の全部をタン・シャンヤン氏（Mr. Tang Xiangyang）に対して譲渡することに合意する。（なお、タン・シャンヤン氏（Mr. Tang Xiangyang）は、Beijing Alpha の法律上の代表者です。）
- c) 新華ファイナンス上海は、ヤン・ユー女史（Ms. Yang Yu）を相手とする仲裁の申立てを取り下げるものとする。
- d) 当社及び当社の子会社・関連会社（以下「当社グループ」といいます。）は、タン・シャンヤン氏（Mr. Tang Xiangyang）に対する雇用契約上の全ての債務（報酬及び諸手当）として 50,000 米ドル（約 490 万円）を支払う。タン・シャンヤン氏（Mr. Tang Xiangyang）は、当グループに対してその他何らの債権又は請求権を有しないものとする。
- e) タン・シャンヤン氏（Mr. Tang Xiangyang）は、当グループに対し、上記 a) 及び b) の対価として、550,000 米ドル（約 5,390 万円）を支払うものとし、タン・シャンヤン氏（Mr. Tang Xiangyang）は、上記 d) の反対債務等を差し引いたうえで、正味 500,000 米ドル（約 4,900 万円）の対価を当社に支払うものとする。

(2) 上記取引を行う理由

トップスカイをめぐる紛争に関してヤン・ユー女史（Ms. Yang Yu）を相手とする仲裁の申立てを行ったのは、2012 年 5 月です。その後 1 年以上が経過したにもかかわらず、仲裁機関は仲裁判断を下すに至っていません。当該紛争が生じてから、当社は、トンシンの経営陣の協力が得られなくなったことにより、トンシンに対する支配力を喪失しています。本件に関する紛争は仲裁申し立て以前から存在し、既に長期に亘って継続しており、当社は、紛争の更なる継続は当社グループの利益に資さないものと判断しました。

今般、タン・シャンヤン氏（Mr. Tang Xiangyang）から、トップスカイの件について現金支払による解決の申し入れを受けたことにより、当社も検討を開始しました。トップスカイ、Beijing Alpha 及び BOABC グループ（トップスカイの子会社である BOABC 及び BOABC の子会社から成る企業グループ）はいずれも損失を出しており、追加資金の拠出を避けるためにも、これらの会社の処分が課題となっておりましたが、ノミニーとの紛争が解決し、トップスカイに対する実質的支配を回復できない限りは、同社らの処分もできない状態にありました。仲裁が長引くことで BOABC グループへの支配権を完全に喪失する可能性があることに鑑みて、当社は、トップスカイグループ及び Beijing Alpha に対す



る出資持分を断念及び売却し、それにより得られる対価を当社が現在行っている他の事業や、採算性が見込める事業の新規開拓に使うことが当社の利益に適うと判断しました。

(3) 上記取引の効果

上記取引が実行された場合には、当社は、トップスカイの出資持分を放棄するとともに、**Beijing Alpha** に対して保有する出資持分を譲渡することになります。したがって、当該取引の実行日をもって、**Beijing Alpha**、トップスカイ及びBOABCグループの財務成績を当社の連結範囲から除外する予定です。

(4) トップスカイの概要

(1)	名称	新華トップ・スカイ・パブリック・リレーションズ・コンサルティング(北京)カンパニー・リミテッド		
(2)	所在地	4A-25 Wantong Center, A6 Chaowai Avenue, Chaoyang District, Beijing, PRC		
(3)	代表者の役職・氏名	法的代表者 ワン・ビン (Wang Bin)		
(4)	事業内容	専門的な PR 活動、情報、並びに展示企画、投資企業の経営、経済情報、金融コンサルティング及び企業イメージのデザイン		
(5)	資本金	2,150,000 米ドル		
(6)	設立年月日	2005 年 7 月 15 日		
(7)	大株主及び持株比率	新華ファイナンシャル・ネットワーク (上海) リミテッド: 100%		
(8)	上場会社と当該会社の関係	資本関係	トップスカイの出資持分は、当社の完全子会社である新華ファイナンシャル上海がその全部を（ノミニーストラクチャーに基づいて）保有しています。	
		人的関係	トップスカイの法的代表者であるワン・ビン (Wang Bin) 氏は、当社の元 CFO 兼 COO です。	
		取引関係	トップスカイは持株会社であり、事業活動を行っておらず、当社とトップスカイとの間に直接の取引関係は存在しません。	
		関連当事者への該当状況	トップスカイは当社の連結子会社であり、関連当事者に該当します。	
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財務状態				
(千米ドル (百万円))				
	決算期	2010年12月期	2011 年 12 月期	2012 年 12 月期
	自己資本比率 %	94.2	89.9	88.5
	総資産 千米ドル (百万円)	3,289 (324)	3,335 (329)	3,332 (328)
	純資産総額 千米ドル (百万円)	1,595 (157)	1,578 (156)	1,565 (154)
	売上高 千米ドル (百万円)	- (-)	- (-)	- (-)
	営業利益／損失△ 千米ドル (百万円)	△4 (△0)	△6 (△1)	△9 (△1)
	経常利益／ 損失△ 千米ドル (百万円)	30 (3)	59 (6)	18 (2)
	経常利益／ 損失△ 千米ドル (百万円)	30 (3)	59 (6)	18 (2)

(注) トップスカイは中華人民共和国公司法（会社法）に準拠し設立された出資持分を小口化せず、株式を発行しない有限責任会社であるため、一株当りの数値は存在しません。

(5) BOABC の概要

(1)	名称	北京オリエン・アグリビジネス・コンサルタント・カンパニー・リミテッド		
(2)	所在地	Room 908, Golden Tower, 1 Xibahe South Road, Chaoyang District, Beijing, PRC		
(3)	代表者の役職・氏名	法的代表者タン・シャンヤン (Tang Xiangyang)		
(4)	事業内容	農業に関する情報の提供		
(5)	資本金	2,878,000 人民元		
(6)	設立年月日	1999 年 1 月 8 日		
(7)	大株主及び持株比率	新華トップ・スカイ・パブリック・リレーションズ・コンサルティング(北京)カンパニー・リミテッド: 95% Huang Dejun: 5%		
(8)	上場会社と当該会社の関係	資本関係	BOABC の出資持分は、当社の完全子会社である新華ファイナンシャル上海が（ノミニストラクチャーに基づいて）出資持分の全部を保有しているトップスカイがその 95%を保有しています。	
		人的関係	BOABC の代表者であるタン・シャンヤン氏（Mr. Tang Xiangyang）は、当社グループの従業員です。	
		取引関係	BOABC は、政府の農業政策、農業の生産高、サプライチェーン、農業の影響を受ける他の産業に関する詳細な分析を行うサービスを提供しています。 BOABC の事業は、当社のアプリケーション・ソリューション／リサーチ事業の一部を構成しています。当社と BOABC との間に直接の取引関係は存在しません。	
		関連当事者への該当状況	BOABC は当社の連結子会社であり、関連当事者に該当します。	
(9) 当該会社（BOABC グループ）の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財務状態 (千円ドル（百万円）)				
	決算期	2010年12月期	2011 年 12 月期	2012 年 12 月期
	自己資本比率 %	31.8	△7.0	△15.9
	総資産 千円ドル (百万円)	917 (90)	1,814 (179)	2,790 (275)
	純資産総額 千円ドル (百万円)	197 (19)	△137 (△13)	△393 (△39)
	売上高 千円ドル (百万円)	1,725 (170)	2,341 (231)	2,576 (254)
	営業利益／損失△ 千円ドル (百万円)	250 (25)	△444 (△44)	△307 (△30)
	経常利益／ 損失△ 千円ドル (百万円)	251 (25)	△437 (△43)	△305 (△30)
	経常利益／ 損失△ 千円ドル (百万円)	179 (18)	△335 (△33)	△317 (△31)
(注) BOABC は中華人民共和国公司法（会社法）に準拠し設立された出資持分を小口化せず、株式を発行しない有限責任会社であるため、一株当りの数値は存在しません。				

(6) Beijing Alpha の概要

(1) 名称	北京アルファ・ファイナンシャル・エンジニアリング・カンパニー・リミテッド	
(2) 所在地	4A-25 Wantong Center, A6 Chaowai Avenue, Chaoyang District, Beijing, PRC	
(3) 代表者の役職・氏名	Legal Representative タン・シャンヤン (Tang Xiangyang)	
(4) 事業内容	ソフトウェア技術の開発	
(5) 資本金	2,500,000 人民元	
(6) 設立年月日	1998 年 10 月 22 日	
(7) 大株主及び持株比率	新華ファイナンシャル・ネットワーク・リミテッド: 100%	
(8) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	Beijing Alpha の出資持分は、当社の完全子会社である新華ファイナンシャル香港がその全部を保有しています。
	人的関係	Beijing Alpha の代表者であるタン・シャンヤン氏 (Mr. Tang Xiangyang) は、当社グループの従業員です。
	取引関係	Beijing Alpha は、ソフトウェア技術の開発をその事業内容としていますが、現在は事業活動を行っていません。 Beijing Alpha の事業は、当社のアプリケーション・ソリューション／リサーチ事業の一部を構成しています。当社と Beijing Alpha との間に直接の取引関係は存在しません。
	関連当事者への該当状況	Beijing Alpha は当社の連結子会社であり、関連当事者に該当します。

(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財務状態

(千円ドル (百万円))

決算期		2010年12月期	2011 年 12 月期	2012 年 12 月期
自己資本比率	%	△1.3	△3.1	△4.3
総資産	千円ドル (百万円)	3,000 (296)	3,235 (319)	3,207 (316)
純資産総額	千円ドル 百万円)	△41 (△4)	△102 (△10)	△145 (△14)
売上高	千円ドル (百万円)	324 (32)	124 (12)	136 (13)
営業利益／損失△	千円ドル (百万円)	△25 (△2)	△50 (△5)	△40 (△4)
経常利益／ 損失△	千円ドル (百万円)	△24 (△2)	△58 (△6)	△42 (△4)
経常利益／ 損失△	千円ドル (百万円)	△24 (△2)	△58 (△6)	△42 (△4)

(注) Beijing Alpha は中華人民共和国公司法 (会社法) に準拠し設立された出資持分を小口化せず、株式を発行しない有限責任会社であるため、一株当りの数値は存在しません。

(7) 相手方当事者の概要

(1)	名称	タン・シャンヤン（Tang Xiangyang）	
(2)	住所	中国北京	
(3)	上場会社と当該 会社の関係	資本関係	当社のストックオプション・プランに基づき[115] 株 及び 4,788 個のストックオプションを保有していま す。
		人的関係	当社グループの従業員です。
		取引関係	取引関係はありません。
		関連当事者への 該当状況	タン・シャンヤン（Tang Xiangyang）は、当社の連結 子会社である Beijing Alpha 及び BOABC の法律上の代 表者であり、重要な子会社の役員として関連当事者に 該当します。

(8) 持分譲渡の日程

基本合意書の締結に関する取締役会決議日：2013 年 8 月 26 日

取引実行日：当社は現在取引実行のための関連契約の作成を進めており、1 ヶ月以内に取引を実行する予定です。

(9) 特別損失の発生及び業績に与える影響

当社は、Beijing Alpha の全出資持分を売却し、トップスカイの全出資持分及びトップスカイに対する経営支配権を放棄することの対価として正味 500 千米ドル（約 49 百万円）を受領する予定であり、その結果、2013 年 12 月 31 日を期末とする会計年度のキャッシュフローは、同額分がプラスされる予定です。

一方、この取引により、2013 年の第 3 四半期には、これら連結子会社の売却損失（子会社株式の帳簿価格と処分価額の差額）として、当グループ全体において約 700 千米ドル（約 69 百万円）を特別損失として計上する予定です。

（注）上記の数値は、1 米ドル=98.59 円（2013 年 6 月 28 日現在の東京外国為替市場における外国為替相場（仲値））にて換算しております。

3. アプリケーション・ソリューション／リサーチ（農業関連）事業部門の廃止

当社は、Beijing Alpha、トップスカイ及び BOABC グループの非連結化により、平成 25 年 12 月期の第 3 四半期から、アプリケーション・ソリューション／リサーチ事業部門（農業関連事業）を全面的に廃止します。

決算期: 2012 年 12 月期		当社グループ全体	農業関連事業のみ	農業関連事業が当社グループ全体において占める割合
売上高	千米ドル (百万円)	14,212 (1,401)	2,712 (267)	19.1%
営業利益／損失△	千米ドル (百万円)	△5,532 (△545)	△333 (△33)	6.0%
経常利益／損失△	千米ドル (百万円)	△6,677 (△658)	△333 (△33)	5.0%
当期純利益／ 損失△	千米ドル (百万円)	△8,389 (△827)	△386 (△38)	4.6%

4. 業績予想の修正

(1) 2013 年度通期（2013 年 1 月 1 日～2013 年 12 月 31 日）の連結業績予想（日本 GAAP）の修正

((単位：千米ドル（1 株当たり当期純利益は米ドル）、
括弧内は百万円（1 株当たり当期純利益は円）、但し%を除く)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株 当 たり 当期純利益
前回発表予想 ¹ (A)	5,014 (494)	△7,911 (△780)	△7,792 (△768)	△7,864 (△775)	△5.19 (△511.66)
今回修正予想 ¹ (B)	4,380 (432)	△7,561 (△745)	△7,442 (△734)	△8,258 (△814)	△5.45 (△537.29)
増減 (B - A)	△634 (△63)	350 (35)	350 (35)	△394 (△39)	△0.26 (△25.64)
増減率 (%)	△12.6	-	-	-	-
(参考) 前期実績 ¹ (2012 年度通期)	14,212 (1,401)	△5,532 (△545)	△6,677 (△658)	△8,389 (△827)	△5.54 (△545.80)

1. 適用為替レート：1 米ドル＝98.59 円（2013 年 6 月 28 日現在の東京外国為替市場における外国為替相場（仲値））

2. △は損失を示します。

(注)：業績予想は、現在入手可能な情報に基づいており、様々な予測できない要素が存在することから、実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。

(2) 修正の理由

当社は、2013 年度通期（2013 年 1 月 1 日～2013 年 12 月 31 日）の連結業績予想を、それぞれ以下のとおり修正致します。

2013 年度通期の業績予想

当社は、アプリケーション・ソリューション／リサーチ事業部門の非連結化を主な理由として、2013 年度通期における売上予想を 5,014 千米ドル（494 百万円）から 4,380 千米ドル（432 百万円）に修正致します。

当社は、赤字状態のアプリケーション・ソリューション／リサーチ事業部門の非連結化を主な理由として、2013 年度通期における営業損失の予想を 7,911 千米ドル（780 万円）から 7,561 千米ドル（745 百万円）に修正致します。

当社は、アプリケーション・ソリューション／リサーチ部門の非連結化を主な理由として、2013 年度通期における経常損失の予想を 7,792 千米ドル（768 百万円）から 7,442 千米ドル（734 百万円）に修正致します。

当社は、アプリケーション・ソリューション／リサーチ部門の非連結化を主な理由として、2013 年度通期における当期純損失の予想を 7,864 千米ドル（775 百万円）から 8,258 千米ドル（814 百万円）に修正致します。

(参考) 国際財務報告基準 (IFRS) に基づく業績予想

2013 年度通期（2013 年 1 月 1 日～2013 年 12 月 31 日）の連結業績予想（IFRS）の修正

（単位：千米ドル、括弧内は百万円、但し％を除く）

	売上高	当期純利益	EBITDA
前回発表予想 ¹ (A)	5,014 (494)	△7,809 (△770)	△7,709 (△760)
今回修正予想 ¹ (B)	4,380 (432)	△8,210 (△809)	△8,076 (△816)
増減 (B - A)	△634 (△63)	△401 (△39)	△368 (△36)
増減率 (%)	△12.6	-	-
(参考) 前期実績 ¹ (2012 年度通期)	9,848 (971)	△8,647 (△853)	△4,909 (△484)

1. 適用為替レート：1 米ドル＝98.59 円（2013 年 6 月 28 日現在の東京外国為替市場における外国為替相場（仲値））
2. △は損失を示します。

（注）：業績予想は、現在入手可能な情報に基づいており、様々な予測できない要素が存在することから、実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。

本書における上記の業績予想に関する記載は、本書の日付現在において経営陣に入手可能な情報に基づいています。予想には様々なリスク及び不確実性が内在しており、実際の業績及び結果はこれらの予想と大きく異なる場合があります。投資家の皆様は、投資判断を行うに当たって、本書に記載される業績予想のみに依拠することのないようご留意下さい。業績予想につきましても随時見直しを行い、開示ルールに従って公表していく予定です。



新華ホールディングス・リミテッドについて

当社、新華ホールディングス・リミテッド（旧商号：新華ファイナンス・リミテッド）は主に中国のソーシャル・インパクト・セクターにおいて事業を展開しているグループ企業です。当社は金融サービス、環境保護、農業、教育及びライフスタイルなどの事業エリアで商品とサービスを展開しています。東京証券取引所のマザーズ市場に上場（証券コード：9399）しており、上海に事業本部を構え、中国、香港及び日本に拠点を配し、グローバルなネットワークを有しています。

詳細は、ウェブサイト：www.xinhuaholdings.com/jp/ をご参照下さい。

本文書は一般公衆に向けられたプレスリリースであり、当社株式の勧誘を構成するものではなく、いかなる投資家も本書に依拠して投資判断を行うことはできません。当社株式への投資を検討する投資家は、有価証券報告書などの提出書類を熟読し、そこに含まれるリスク情報その他の情報を熟慮した上でかかる判断を行う必要があります。本書は多くのリスク及び不確定要素を含むいくつかの将来に関する記述を含んでいます。多くの事項が当社の実際の結果、業績または当社の属する産業に影響を与える結果、将来に関する記述で明示または黙示に示される当社の業績と実際の将来の数値とは大きく異なることがあります。